

太田博太郎

(東京大学名誉教授)

監修

# 日本建築史基礎資料集成 民家

## ◇ 刊行の言葉 ◇

日本には現在、約二、六〇〇棟の国宝・重要文化財の建物がある。そのうち、とくに貴重なものとして国宝に指定されたものだけでも二〇〇棟をこえる。その年代は七世紀に始まり、二〇世紀初めのもので含まれている。このように、長い世代にわたり、多くの、かつ優秀な木造建造物を伝えている国は他に全くない。これらの建物は、昔の文化を直接見うるものとして貴重であるばかりでなく、文化がつねに伝統の所産であることを考えれば、将来日本文化に貢献するところは、まことに大きいといわねばならない。

しかし、これらを研究し、あるいは将来の設計に活かそうとするとき、その用意はできているであろうか。建築の場合、詳しい正確な実測図、多くの写真、創立沿革の史料が整っていないことは、建物そのものの理解も、その価値の評価も正しくはできない。ところが写真・図面を備えた修理報告書はまだ約四五〇冊、全体の五分の一しか出ていず、その部数は各冊三〇〇部という小部数に過ぎない。しかも、これを完備しているところは、団体・個人を通じて十指に充たないであろう。これを利用できるのは、ごく限られた、少数の人に過ぎない。このような状態では、研究をするにしても、またその活用をするにしても、不可能に近いと言わざるをえない。

文化財はまず第一に保存しなければならぬ。なくなってしまうたら何にもならない。しかし、その活用が講じられなければ、宝の持ち腐れである。私たちは日本建築史研究の発展のために、またその成果を十分利用してもらうために、『日本建築史基礎資料集成』の作成と刊行を企てた。



【旧大戸家住宅 外観】

■体裁 B4判バクラム装製本／貼函入口  
絵80頁・図面80頁・解説80頁

■定価 23,100円(本体22,000円+税)  
ISBN4-8055-1121-4 C3352

中央公論美術出版

<http://www.chukobi.co.jp>

〒104-0031 東京都中央区京橋2-8-7

電話 03-3561-5993 FAX 03-3561-5834

お取り扱いは

# 日本の民家建築を代表する国宝・重文000棟の豊富な 写真・図面を中心に、様式別に整理された基礎資料集成

二二	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	概説	凡例	刊行のことば	目次
木原家住宅	今西家住宅	大角家住宅	旧三沢家住宅	旧生方家住宅	旧椎葉家住宅	旧恵利家住宅	堀江家住宅	古井家住宅	吉村家住宅	石田家住宅	旧大戸家住宅	坪川家住宅	曾根原家住宅	旧山田家住宅	旧広瀬家住宅	旧伊藤家住宅	旧作田家住宅	旧佐藤家住宅	旧渋谷家住宅	旧工藤家住宅				

## 写真見本

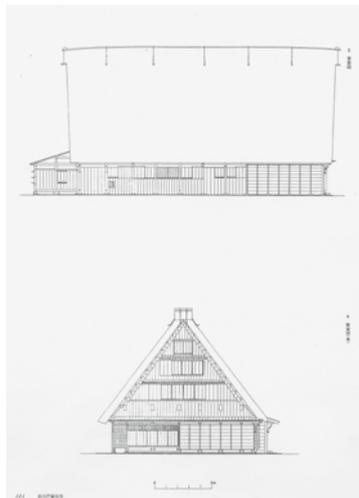


P7 旧渋谷家住宅 上「おめえ」下「おくしき」

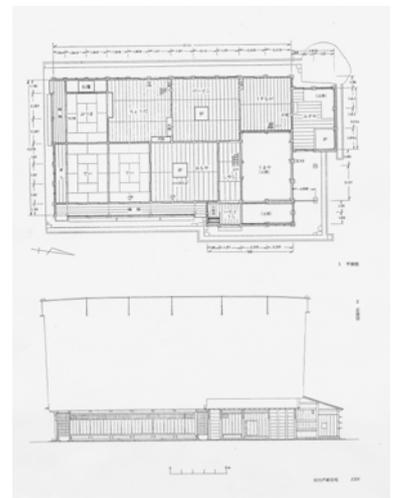


P5 旧渋谷家住宅 上 外観 下 側面

## 図面見本



P121 旧大戸家住宅 上 背面図 下 側面図(南)



P120 旧大戸家住宅 上 平面図 下 正面図

【本書をお薦めする方々】  
 日本建築史、国史学、仏教史の研究者及び、研究室、大学図書館／郷土史研究者／建設会社・建築設計事務所／博物館・郷土資料館・学芸員／各都道府県・市町村教育委員会文化課及び公共図書館／寺院関係機関及び関係者